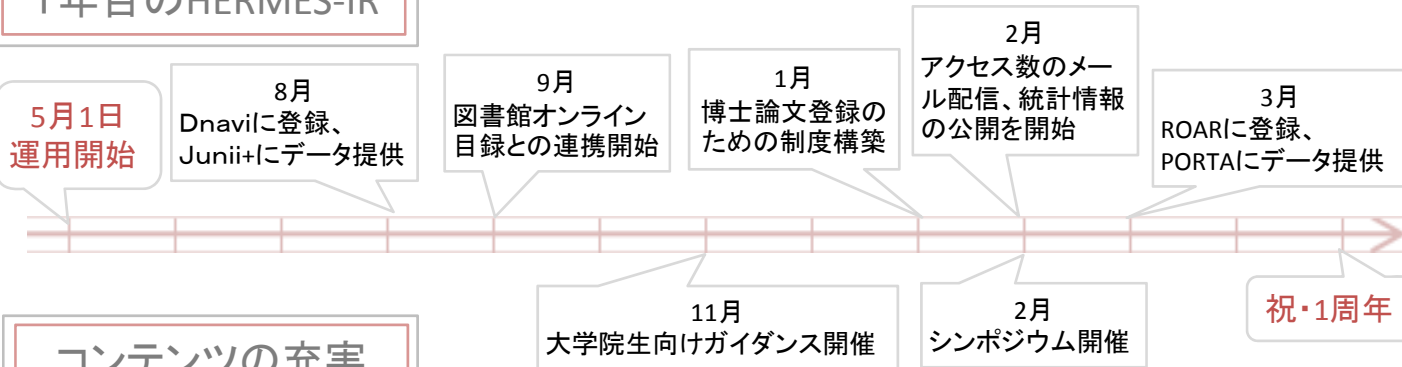




HERMES-IR（一橋大学機関リポジトリ） 運用開始から1年

HERMES-IRは5月1日をもって運用開始から1周年を迎えました。
 この間、みなさまのご理解とご協力を得て内容の充実に励んでまいりました。

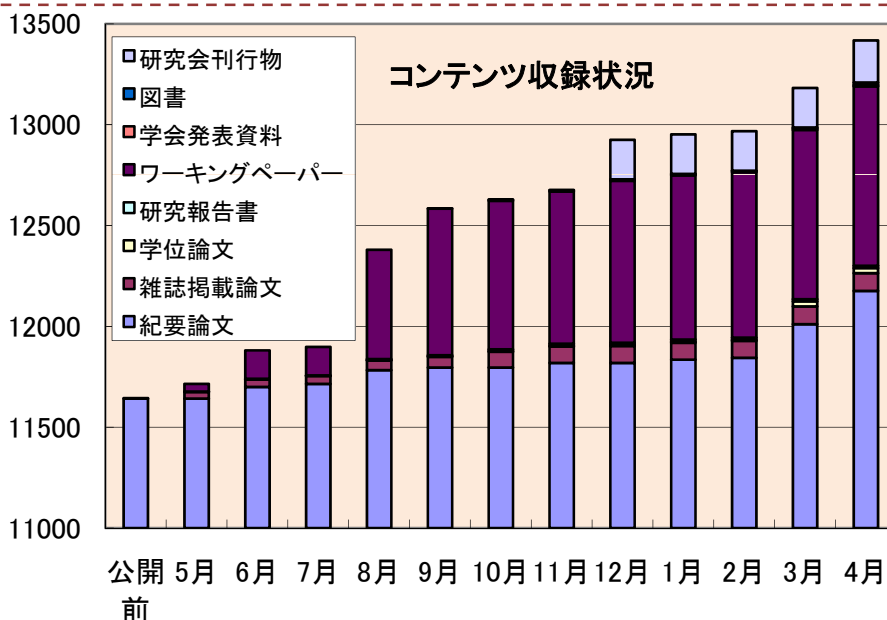
1年目のHERMES-IR



コンテンツの充実

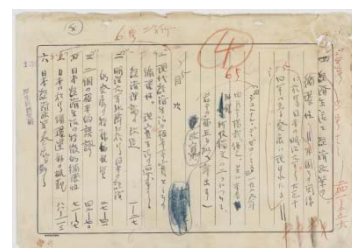
Research & Education Resources

HERMES-IR公開時は紀要論文が大半でしたが、この1年で雑誌掲載論文、学位論文、研究報告書、ワーキングペーパー、学会発表資料、図書、研究会刊行物などの多様なコンテンツが登録されました。また、博士論文許諾確認の制度を整え、紀要類、ディスカッション・ペーパー等の包括的な公開許諾を得ることによって、継続的なコンテンツ収集の体制を構築しました。



Special Collections

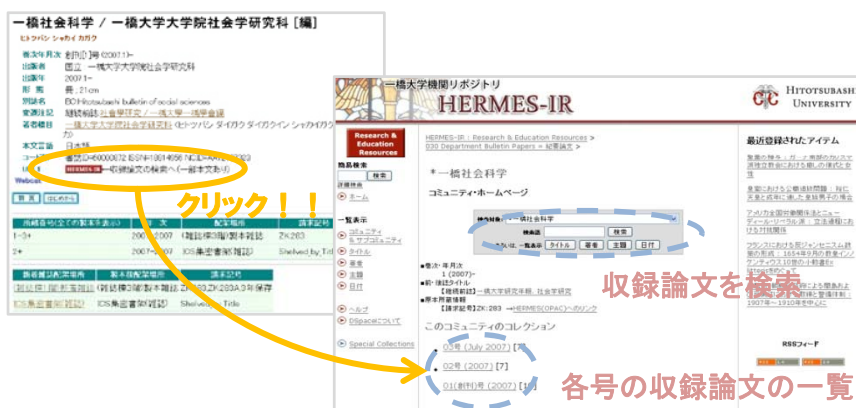
論文や報告書を収録する「Research & Education Resources」に対し、「Special Collections」では、本学所蔵コレクションの画像ファイルを収録しています。1年目は、貴重資料等に加え、本学で教鞭をとった著名研究者の関係資料として、福田徳三先生関係資料(右写真)、三浦新七先生講義原稿・手稿類および古川栄一先生講義ノート類を電子化し公開しました。



利用の促進

図書館との連携

図書館のオンライン蔵書目録
HERMESからのリンクを形成し、図
書館利用者がHERMES-IRを利用し
やすい環境を整えました。



外部機関との連携

国立国会図書館 Dnavi(データベース・ナビゲーション・サービス)、ROAR(Registry of Open Access Repositories) への登録、国立情報学研究所 JuNii+(機関リポジトリポータル)試験公開版、国立国会図書館 PORTA(デジタルアーカイブポータル)へメタデータを提供することによって、外部の検索サイトからの利用促進を図りました。

システムの機能改善

Google等から直接本文PDFを閲覧する方のために、書誌事項を記載したカバーページを表示する機能を追加しました。平成20年2月には、論文情報と論文ファイルへのアクセス数を著者にメール配信するサービスを開始しました。また、リポジトリホームページからの統計情報(収録コンテンツ数・アクセス数・高頻度閲覧文献リスト)の公開を開始しました。

広報活動



大学院生向けガイダンス開催 (11月19日/21日)

「論文投稿・博士論文提出のための著作権処理&HERMES-IR入門」
若手研究者に著作権についての基礎知識を普及し、機関リポジトリでの情報発信について知ってもらうために、附属図書館主催の情報リテラシー教育と共催で、ガイダンスを行いました。

リポジトリ・シンポジウム開催 (2月21日)

「ウェブ時代と学術コミュニケーションのゆくえ
～人文・社会科学系研究成果の情報発信の新しい可能性～」
さまざまな角度から学術コミュニケーションの新しい可能性を議論することによって、登録者にとって魅力的なりポジトリづくりを目指すために、シンポジウムを開催しました。

2年目のHERMES-IR

2年目のHERMES-IRは、各研究科・研究センター・COEプログラム等のプロジェクトおよび学内教員等が主催する各種研究会との連携を深めコンテンツ収集を図ることによって、各種のプロジェクト・研究会の成果発表の場となることを目指します。
ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

HERMES-IRについてのお問い合わせ・登録のご相談は下記にご連絡ください。
学術・図書部 情報推進課 コンテンツ主担当 contents@www.lib.hit-u.ac.jp